



ROCK PAINT

051-1530 番級

ロック

木部用マルチ下塗り

弱溶剤エポキシ系木部用下塗り塗料

ホルムアルデヒド放散等級

F☆☆☆☆

居室内で無制限に使用できます。

破風などの部位の目止めとして最適。
木部用の下塗りにおすすめします。

特長

- 素地の目止め効果及び隠蔽性にすぐれます。
- 速乾で塗装作業性が良く、上塗りの吸い込みが少ないため、美しい仕上がり感が得られます。
- エポキシ樹脂配合により、耐水性、耐久性、付着性にすぐれます。
- 二液型塗料と比べ手間や配合ミスがなく、可使用時間の制限もないので、塗料は無駄なく使用できます。
- 塗料用シンナー希釈のため、下地や旧塗膜を侵すことなく塗装できます。
- 鉛・クロムなどの有害な物質を配合していません。

色彩

ホワイト



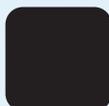
(日塗工25-92B近似)

チョコレート



(日塗工 09-30F近似)

ブラック



(日塗工IN-20近似)

用途

- 一般建築物内外部、構築物の木部用下塗りとして



ロックペイント 株式会社

標準塗装仕様 (塗り替え)

工程	使用塗料	希釈剤	塗装方法、希釈率(%)	塗装回数	標準塗付量 (kg/m ² ・回)	塗り重ね可能時間 (23℃)
下地調整	オービルサンダーでP180~P240ペーパーを用い汚れ、付着物、ケバダチを除去して平滑な面にする。木のヤニは削り取るかまたは焼きゴテで処理し、揮発油でふき取る。節および周辺はセラックニスで節止めを行い、穴埋めの必要ときはロックポリパテで穴埋めを行う。					
下塗り	051-1530番級 ロック木部用マルチ下塗り 各色	塗料用シンナー	ハケ・ローラー : 5~15 エアレス : 10~20	1	0.12~0.20	4時間以上 7日以内
適応上塗り塗料	ハイパーユメロック(114L)、ユメロック(114L)、サンフロンUV(081L)、1液ユメロック(024L)、ダイナロックⅢ(018L)など					

*仕様書の数値は標準的な塗装を行う際のもので、塗装時のロスや素地の状態、気象条件、塗装方法などにより多少異なる場合があります。
*適応上塗り塗料の詳細な使用方法、注意事項については、それぞれのカタログをご参照ください。

塗布面積 80~133m²/16kg・回 **品番・容量** 051-1531 ロック木部用マルチ下塗り ホワイト 16kg・4kg
051-1532 ロック木部用マルチ下塗り チョコレート 16kg・4kg
051-1533 ロック木部用マルチ下塗り ブラック 16kg・4kg

施工上の注意事項

- 使用する前に塗料の底から十分によくかき混ぜて、均一な状態にしてください。
- 塗る面のゴミ、かび、こけ、油分などの汚れやはがれかかった塗膜、研磨粉はよく取り除き、乾いた清浄な面にしてください。
- 有機溶剤を含有していますので、塗装作業中及び乾燥時の換気と火気厳禁を守ってください。密閉した室内では乾燥が遅くなります。
- 希釈は塗料用シンナーを使用してください。また必要以上に希釈すると隠蔽性が低下したり、たれなど仕上がりが不良などが起きる原因になります。
- 新設の木部の場合は、含水率15%以下で行ってください。また節止めはセラックニスを使用してください。
- 木の材質、下地の状況によりはがれ、割れを生じることがありますので、事前に試し塗りなどを実施し確認してください。
- 用途(カウンター、テーブル、椅子、棚、床等)によっては塗装に適さない場合がありますので、最寄りの営業所へお問い合わせください。
- 気温が低いときや湿度が高い場合には、完全な塗膜が出来にくく十分な性能を発揮できませんので、気温5℃以下、湿度85%以上での塗装は避けてください。
- 劣化の著しい木部への塗装は、表面剥離の原因となるため施工は避けてください。
- 降雨、降雪、強風などの場合、また天候不良が予測されるときは外部の塗装は避けてください。
- 絶えず結露が発生するような用途、場所での使用は避けてください。
- 各工程の塗装間隔や塗付量、希釈量を守らなかった場合、塗膜不良となることがあります。(例えば一度に所定以上塗装すると硬化・乾燥不良を起こし、塗膜に割れ、ふくれ、ちぢみが発生場合があります。また、塗付量が少ないうちで希釈しすぎた場合、膜厚不足により塗膜不良となることがあります。)
- 仕様書の数値は標準的な塗装を行う際のもので、標準塗付量は塗装時のロスを考慮に入れた数値です。素地の状態、気象条件、塗装方法などにより異なる場合があります。
- シーリング材への塗装は、シーリング材の種類、劣化度により付着不良、収縮割れなどを起こしたり、表面が汚れたりすることがありますので、塗装は避けてください。

- やむを得ず塗装する場合、シーリング材が完全に硬化後、シーリング材用プライマー「ロックノンタックプライマーS」を塗装してください。また、プライマーで処理してもシーリング材の種類によっては汚れ、付着不良、はがれ、収縮割れが発生する場合があります。
- 内部の塗り替えて旧塗膜が合成樹脂調合ペイントやフタル酸樹脂エナメルなどの油性系の場合、あらかじめペーパーかけを行ってください。下地処理が不十分な場合、塗膜剥離になることがあります。
- 飛散防止のため、必ず養生を行ってください。特に吹付け塗装の場合は注意してください。
- 塗り重ね可能時間は守ってください。硬化が不十分だと塗料用シンナーで再溶解する場合があります。
- 塗装間隔(乾燥時間)は塗装現場の温度、湿度、風通し、素地の状態などにより多少変わります。
- 塗装間隔が長くなりすぎると付着性が低下し、上塗り塗料との層間剥離を起こすことがありますので注意してください。
- 塗膜が完全に乾燥する前に、降雨、結露等があると、白化やしみが残る場合があります。また、低温時や高湿度、通風が悪い場合も白化やしみになる場合があります。
- 仕様書はすべての工程においてホルムアルデヒド放散等級F☆☆☆☆を使用しています。F☆☆☆☆以外の材料(被塗物、素材を含む)を使用したり、各工程の塗装間隔や塗付量、希釈量を守らなかった場合F☆☆☆☆仕様でなくなる場合がありますので注意してください。
- 汚れたウエスをまとめて置いたり、スプレーダストなどがたまってくと発熱し、自然発火のおそれがあります。使用済みのウエス、塗料かす、スプレーダストなどは、廃棄するまで水を張った容器に保管してください。
- 開缶後は塗料表面に皮が張りやすいため、出来るだけ早く使い切ってください。
- 上塗り塗装は必ず2回塗り以上で仕上げてください。
- 塗料用器具の洗浄にはラッカーシンナーを使用してください。
- このカタログに記載されている上塗り塗料などの詳細な使用方法については、各々のカタログをご参照ください。

安全衛生上及び取扱上の注意

- 〔製品の危険・有害性〕
- 引火性の液体である。 ●溶剤蒸気を吸入すると有機溶剤中毒になる恐れがある。
 - 大量又は、継続的な暴露により重大な健康障害を引き起こす。
 - 感作性があり、皮膚に付着するとかぶれやアレルギーを引き起こす恐れがある。
 - スプレーダストや塗料の付着したウエスなどは発熱し、自然発火する恐れがある。
- 〔救急処置〕
- 目に入った場合は直ちに多量の水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
 - 誤って飲み込んだ場合は、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
 - 蒸気・ガスなどを吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受けてください。
 - 皮膚に付着した場合には、多量の石鹸水で洗い落とし、痛みまたは外観に変化のあるときは医師の診察を受けてください。
- 〔取扱注意事項〕
- 取扱は引火源のないところで行い、特に静電気が発生するような衣服、取扱は避けてください。
 - 取扱作業所には、局所排気装置を設け、塗装時及び乾燥時には十分換気を行ってください。
 - 溶剤蒸気やスプレーダストを吸引しないように、必要に応じて有機ガス用防毒マスクまたは送気マスクなどの適切な保護具を着用してください。
 - できるだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて保護めがね、保護手袋(耐溶剤性)、長袖作業着等を着用してください。
 - アレルギー体質の人は取り扱わないでください。
 - 取扱後は手洗い及びうがいを十分に行い、作業着等に付着した汚れをよく落とすしてください。
 - 使用済みウエス、塗料かす、スプレーダストなどは、廃棄するまで水を張った容器に保管してください。
 - よくふたをして直射日光を避け、5℃以上40℃以下の子どもの手の届かない一定の場所に保管してください。
 - 容器は中身を使い切ってから廃棄してください。
 - 指定された以外の製品と混合しないでください。
 - 廃棄の際は関係法規に従って産業廃棄物処理業者に委託し処理してください。
 - 火災時には炭酸ガス、泡または粉末消火器を用いてください。
- 〔施工後の安全性について〕
- 本製品は揮発性の化学物質を含んでいますので、塗装直後の引き渡しの際は、施主に対して安全性に十分に注意を払うようにご指導ください。
 - 不特定多数の方が利用する施設を施工した場合は、ベンキ塗りたてであるなどの立看板を設置し、化学物質過敏症ならびにアレルギー体質の方が接することのないようにご配慮願います。
 - 安全データシート(SDS)をよく読んでから取り扱ってください。



東京営業部 〒136-0076 東京都江東区南砂2-37-2 TEL(03)3640-6000 FAX(03)3640-9000	大阪営業部 〒555-0033 大阪市西淀川区姫島3-1-47 TEL(06)6473-1650 FAX(06)6473-1000
札幌営業所 〒003-0011 札幌市白石区中央一条4-3-48 TEL(011)812-2761 FAX(011)812-9304	名古屋営業所 〒454-0059 名古屋市中川区福川町1-1 TEL(052)351-6500 FAX(052)361-7433
仙台営業所 〒983-0044 仙台市宮城野区宮千代2-3-11 凌正ビル201 TEL(022)349-8677 FAX(022)283-3255	岡山営業所 〒701-1134 岡山市北区三和1000-34 TEL(086)294-1201 FAX(086)294-6966
西関東営業所 〒252-0131 神奈川県相模原市緑区西橋本1-15-16 TEL(042)700-3111 FAX(042)700-3112	福岡営業所 〒811-0119 福岡県糟屋郡新宮町緑ヶ浜3-2-1 TEL(092)962-0661 FAX(092)963-1241

販売店

※本カタログの内容については、予告なく変更することがありますのであらかじめご了承ください。
また記載内容について、法律で認められる範囲を超えての転載・複製を禁止します。